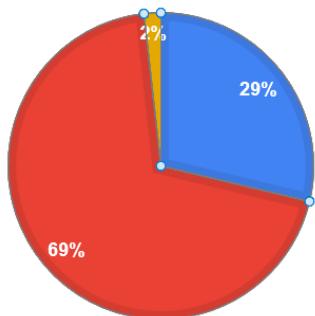


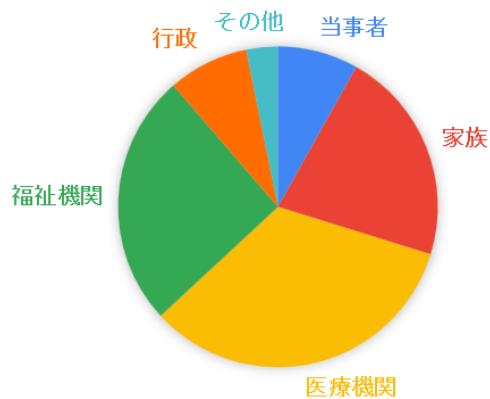
## 2024年度 第2回 高次脳機能障害実践的アプローチ講習会

開催日: 2024年12月22日(日)

申込者282名の属性



性別		
男性	81人	29%
女性	196人	69%
回答しない	5人	2%



性別		
当事者	23人	8%
家族	61人	22%
医療機関	94人	33%
福祉機関	72人	26%
行政	23人	8%
その他	9人	3%

## どちらから申込みましたか？

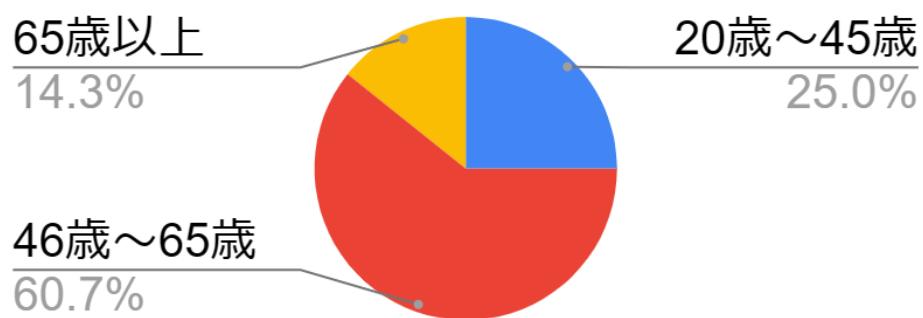
都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	10	石川県	2	岡山県	-
青森県	3	福井県	2	広島県	3
岩手県	4	山梨県	-	山口県	1
宮城県	3	長野県	2	徳島県	-
秋田県	-	岐阜県	5	香川県	1
山形県	-	静岡県	6	愛媛県	5
福島県	-	愛知県	4	高知県	1
茨城県	5	三重県	1	福岡県	7
栃木県	6	滋賀県	5	佐賀県	-
群馬県	1	京都府	3	長崎県	1
埼玉県	21	大阪府	12	熊本県	6
千葉県	8	兵庫県	4	大分県	4
東京都	114	奈良県	1	宮崎県	3
神奈川県	23	和歌山県	-	鹿児島県	2
新潟県	1	鳥取県	-	沖縄県	-
富山県	-	島根県	2		

2024年12月22日開催

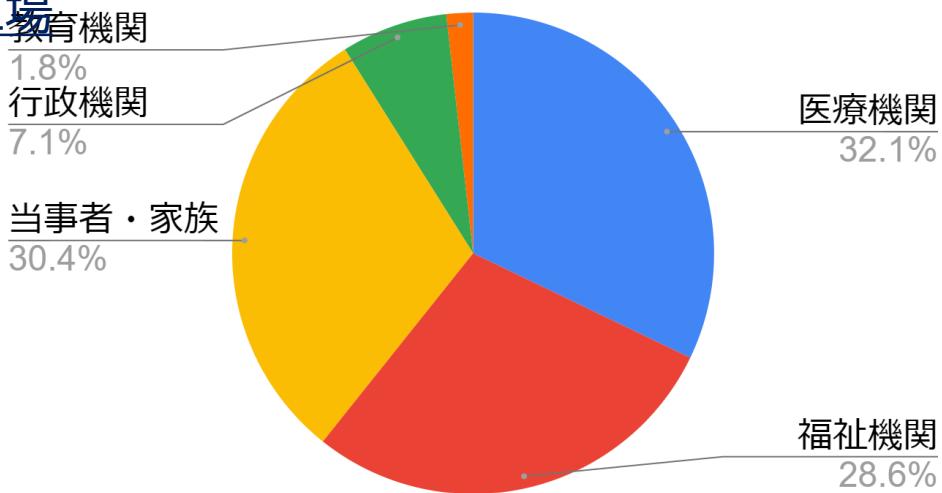
## 2024年度第2回アプローチ講習会参加者アンケート結果

回答者数：112名

### 1. 参加者の年代



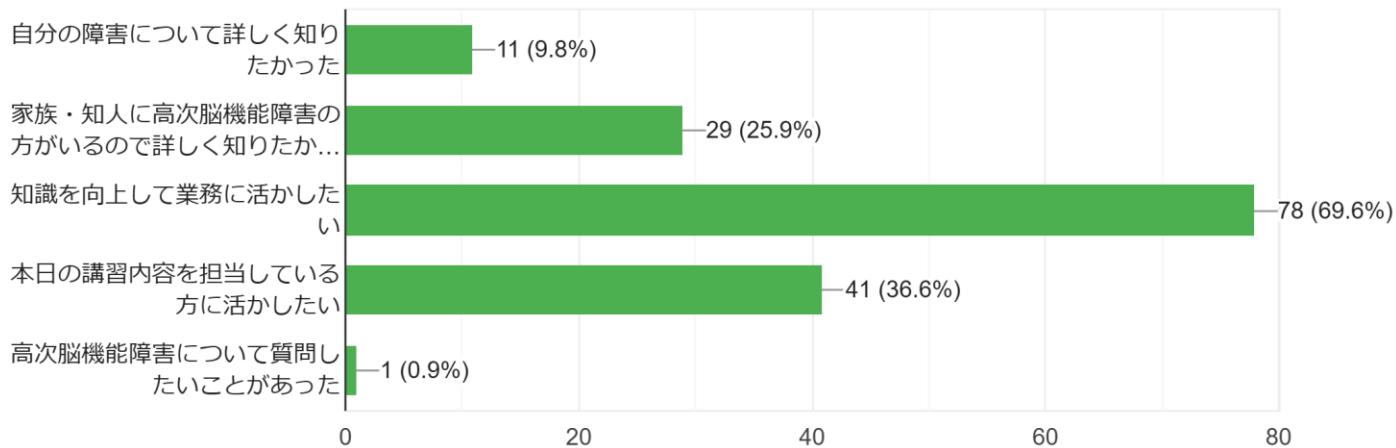
### 2. 参加者の立場



### 3. あなたを含め何人で参加しましたか？

1人	85.7%	96件
2人	11.6%	13件
3人	1.8%	2件
4人	-	-
5人以上	0.9%	1件

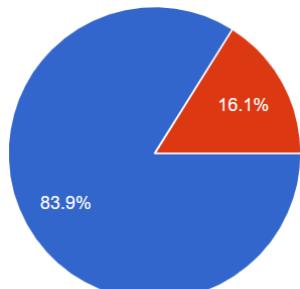
## 4. この講座を受講したいと思った理由をお選びください (複数回答可)



## 5. どちらから参加しましたか？

北海道	1	石川県	-	岡山県	-
青森県	1	福井県	1	広島県	-
岩手県	2	山梨県	-	山口県	-
宮城県	-	長野県	1	徳島県	-
秋田県	-	岐阜県	2	香川県	-
山形県	-	静岡県	4	愛媛県	1
福島県	-	愛知県	2	高知県	1
茨城県	2	三重県	-	福岡県	3
栃木県	4	滋賀県	2	佐賀県	-
群馬県	-	京都府	1	長崎県	-
埼玉県	9	大阪府	3	熊本県	-
千葉県	6	兵庫県	1	大分県	2
東京都	46	奈良県	1	宮崎県	2
神奈川県	11	和歌山県	-	鹿児島県	2
新潟県	-	鳥取県	-	沖縄県	-
富山県	-	島根県	1		

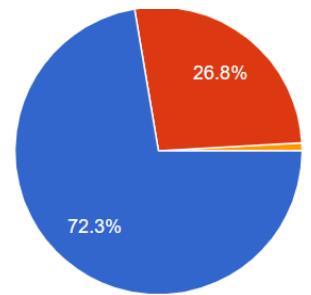
## 6. 来年度も参加したいですか？



## 7. 講演① 一杉 正仁氏

### 「脳損傷者の自動車運転 -健康管理の重要性」

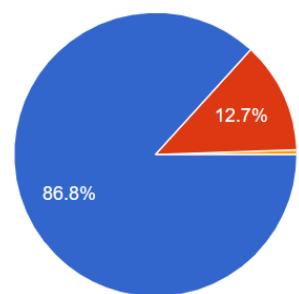
大変参考になった	72.3%	81
参考になった	26.8%	30
期待とは違った	0.9%	1



## 8. 講演② 渡部 伸氏

### 「高次脳機能障害のある方の「親なきあと」～「親あるあいだ」の準備」

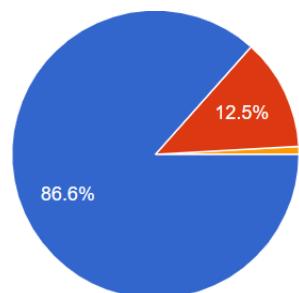
大変参考になった	83.9%	94
参考になった	15.2%	17
期待とは違った	0.9%	1



## 9. 講演③ 渡邊 修氏

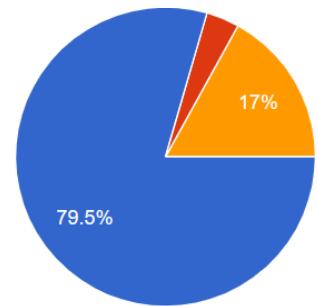
### 「交通事故後の脳外傷者に対する生活指導」

大変参考になった	85.6%	97
参考になった	12.5%	14
期待とは違った	0.9%	1



## 10. 今後の開催スタイルについて

① オンライン	79.5%	89件
② 会場	3.6%	4件
③ どちらでもよい	17%	19件



# 11. 自由意見

先生方、分かりやすくご講義くださりありがとうございました。

てんかん発作についての講座を受講したい。

自分が言語性記憶障害だと理解できました。ありがとうございました m(\_ \_)m

どの内容も良かったですが、講演②の渡部先生の話が親あるあいだから準備をしなければならないのだなあと考えさせられました。どうもありがとうございました。

渡部伸先生の講座内容は信託については参考になった。また、「自立」とは他人に困ったことを頼めることという一文に非常に共感した。

身体に関してだけではなく 支援についての講義もあり とても 参考になりました

数年続けてオンラインで受講をさせていただいております。遠隔地においても受講できるようご配慮を賜り感謝しております。3つの研修、どの講座も素晴らしい内容、しかも分かりやすく、感激しました。ありがとうございました。

今回はトラブルもなく参加が出来ました。渡邊修先生の声が聞き取りにくいので相違工夫をして下さい。

本日は貴重なお話をありがとうございました。当事者として職場で高次機能障害が理解されてません。私と同じ高次機能障害で依頼退職に誘導させられた同僚もいます。少しでも理解が進み生活しやすい環境が訪れるといいと思います。それには今後どのようにしたらいいのでしょうか？

渡邊修先生の 100 講義目、受講出来て光栄でした。この実践的アプローチ講習会を 2018 年度から聴講させて頂いています。ここで得た知識を日頃の業務に活かせているか？自身に問い合わせながらこれからも続けて受講していきたいと思います。

以前福岡でのある講習会で親亡き後について質問しましたが、全く回答なく、今回現状を知ることができました

質問に答えていただきとっても嬉しかったです。私はうオンラインでないととても質問などできません。

どのご講演も大変勉強になりました。オンラインで開催いただき、遠方からでも容易に参加できてありがとうございます。

大変わかりやすく、すぐに、支援に生かせる内容でした。ありがとうございました。

非常に質の高い講習会でした。様々なことを勉強させていただき、高次脳機能障害の家族のケアに役立てたく思います。

貴重な情報を教えていただきありがとうございました。なかなか、自立できない息子で渡部先生のおしゃったように、自分の事を相談できる困ったことがあれば周囲の人に助けを求められることができれば良いなと思いました。手助けしていけるように親も頑張りたいと思います。

本日の講習会の内容により知識を深めることができ、チームで包括的な支援を行うことの必要性を改めて感じました。

日頃に服薬の際に惑わされてたこと救われました。薬剤の添付文書について製薬会社の不信感になっていましたので。また、200 回記念の講演の中で、軽度でも社会に揉まれてやがて二次障害に見舞われることを知り痛感し、いま鈍痛がスパイナルに渦中にいるようでした。

講演③は途中で退出し、できればアーカイブ配信での聴講を希望します。

毎回とても充実した内容だと思います。いつも学ぶことがあります。これまでリモートで実施された内容が保管されているようであれば広く公開していただける方策があるととてもうれしく思います（講師の了解や損保の助成を得て）。日本の高次脳機能障害者支援の財産になると思います。

私自身が交通事故被害者なので、とても共感できました、ありがとうございました。

当事者・家族・支援者チームで関わることが大切だと実感しています。チームの人数が多くなるとタイムリーな情報共有が難しいと感じます。今後、良い取り組みをされている事例などを取り上げていただければと思います。質問にも詳しく回答いただきありがとうございました。ありがとうございました。

日常生活をリハビリしていくためのアイデアをいただけるような講演を拝聴してみたいです。

高次機能障害の人とその家族や同居人、友人といった身近な人と高次機能障害自体と必要なリハビリについて充分な説明を受ける適切な機会が必要だと思った。介護におけるサービス担当者会議のような情報共有と療養計画や経過の検討の場が、当事者とその身近な人、医療機関、教習所を交えて設けられる必要もあると思われる。今回の講習会は広く当事者とその身近な人、福祉や医療に携わる人が知る必要のあることなのでイベント告知がより積極的に行われるべきだ。

参加者との意見交換が活発に行われると思います。

中身の濃いお話をありがとうございました。

入院中に、高次脳機能障害が残るであろうという説明を受けることができる医療になることが必要だと、強く感じています。無事に？退院しても、本人・家族が予想外の試練に直面する辛さを日々感じています。

100 件目 おめでとうございます。ご苦労さまです。小児の脳損傷で、性格が定まっています。成長と共に障害の症状がその子に性格と本人も周りの認識して大人になっても自覚が難しいと本人もこれを自分だと苦しいと思います。小児が成長していく過程の苦労や対応方法等、聞きたいです

失語症について、一般的な文章の理解が難しい

毎回興味深い内容の研修をありがとうございました。

講習会へ参加させていただきました。大変参考になりました。まだ支援拠点機関となり日が浅く、経験したケースも少ないため社会資源や一般的な高次脳機能障害の方がどのような経過をたどるのかを知る大変貴重な機会となりました。

現在、通所施設に勤務しており、介護保険以外の利用者の対応も行っています。主には介護保険ですが、区の独自事業で介護保険以外の方の対応も行っており、まさしく頭部外傷の若い方（介護保険の 2 号くらいの年齢）も増えており、いろいろと悩むことが多いです。本日の講習はとても参考になり、今後の利用者対応にも活かしていかなければと思いました。

私自身は質問しませんでしたが、先生方がたくさんの質問に答えて下さるのは大変ありがたいことだと思いました。

研修資料が届きませんでした 自身の申し込み手違いかと思っていましたがアンケートが届き驚きました 参加できずとても残念です

途中で途切れてしまって聴くことのできない部分が出てきました。

講師の講義だけでなく、そのことに関する当事者の方の体験談等を聞きたい

当事者にとって車の運転再開できるかどうかは重要な問題であり、とても参考になりました。

病院に勤務する看護師です。普段聞くことの無い、大変貴重な講習をありがとうございました。今後の支援に役立てていきたいと思います。

わかりやすいご説明、ありがとうございました。来年も宜しくお願い申し上げます。

就労や復職がメインの話になっていますが、就労や復職がかなわなかった人やそこまで望めない方への参加の場所として何があるのか、また年齢的な狭間、介護保険には馴染まない人も多くいる中で、地域としてどう受け入れていくのか、事例や施設紹介あればお聞きしたいです。私は川崎市で地域活動支援センターの職員をしています。今、地域作業所が事業移行で地域活動支援センターになった事業所と地域活動支援センターとして立ち上げた事業所との認識の差を感じています。継続 B への移行を進めている川崎市の印象もあり、最後の砦としての受け皿という位置づけとして日々やっています。高次脳機能障害があるけど、身体的な所見がない方と、片麻痺や車椅子生活をやむを得なくなつた方と分けて捉える必要があると思います。ですか、話題に上がる事例は復職できそうな方ばかり、精神手帳 2 級の方ではなく、身障手帳 1.2 級で、高次脳機能障害が、見逃されている事例を紹介していただきたいです。

渡邊修先生の交通事故後の脳外傷者に対する生活指導はとてもわかりやすく、家族会の中でも活かせる内容でした。100 回目の講演はすごいです。先生がいてくれるので今後の高次脳機能障害がいの理解や医療側の説明、配慮の充実など支援法の実現とともに期待できます。当事者と家族も一緒に経験談などやれる事少しずつ

3名のそれぞれの先生方からの講義でとても参考になることが多々あり、知識・情報として得ることができました。今後に活かしていきたいと思います。

今年8月の岐阜であった岐阜高次脳機能障害フォーラムで、こちらの講習会を知りました。5月に息子が転落して高次脳機能障害を持つ家族になりこれから先長い歩みになっていかと思います。息子の人生を支えていくヒントを頂いたり、本人、家族を支えてもらえる機関と繋がりを持っていきたいと思いますのでこれからもこのような機会があれば受講したいです。メールなどで教えていただけるととてもありがとうございます。

毎回大変勉強になっております。また参加したいです。

他のセミナーとは全く異なる切り口で、内容が充実しており毎回大変勉強になります。申し込みの日程制限があり、2回とも同時に申し込めるなど簡素化していただけると助かります。

渡邊先生に感謝と御礼を申し上げたいと思いました。高次脳機能障害の歴史の初期から長年にわたり、高次脳機能障害に携わられ、当事者と家族の心身に添っていただき、かつ研究成果を上げてくださいました。心より感謝申し上げます。

失語症（一般文章の読み書きが難しい）

わかりやすい説明で理解が深まりました。ありがとうございました。また受講したいです。

失語症、てんかんについて取り上げていただきたいと思いました。

当事者の状況が変化する中で、いつも参考になることばかりです。本当にありがとうございます。これからの介護に人生に役立てたいと思います。

具体的な事例を説明していただいたことで、支援をイメージできて分かりやすかった

身近な方で、高次脳障がいの方が増えているような気がする。これからも高次脳障がいについて多くの人が深く理解することが大切だと思いました。

受傷時における医師の説明の重要性を改めて強く感じた（たとえ早い段階でリハビリ病院につながっても、それがかえってマイナスになることもあるし、何も知らない当事者・家族に対して、専門職であればなおさらきちんと説明をしていただくことが大切だと思う）。自動車運転について、身近で、病後まもなく再開している人がちらほらといる。あまり医師から注意を受けることもなかったのではないかと思われる。今回の一杉先生の講義の内容のようなことがもっと広く喧伝される必要を感じた。